

地域融合教育ネットワーク

福井市順化小学校

1 取組の概要

(1) 地域や家庭との連携実績

| 項目 | 回数 |
|---------------|-----|
| 地域・学校協議会 | 3回 |
| 中学校区を単位とした協議会 | 2回 |
| 地域及び家庭への学校公開 | 22回 |

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

| | |
|--------------|------|
| 講師・ゲストティーチャー | 16人 |
| 授業ボランティア | 443人 |
| 登下校支援ボランティア | 750人 |
| その他 | 人 |

(3) 特色ある活動

テーマ 地域と連携した、キャリア教育の推進：「順化の先輩に学ぶ」

昨年度から、夢や目標を持って、努力を続けていらっしゃる順化小学校の先輩から直接話を聞く、「順化の先輩に学ぶ」講演会を開催している。小学校から発達段階に応じた望ましい職業観や勤労観等、キャリア教育の一環として、現在や将来を考えさせている。



9月の福井発凱旋時にWBAスーパーフライ級チャンピオン清水智信選手を招き、お話を聞いた。ボクシングに懸けてこられた情熱や努力、夢や目標に向かって諦めない姿勢などを学んだ。子どもたちは素晴らしい先輩に誇りを感じ、今後の活躍を祈った。会場の皆が、清水選手の「ボクシングの才能はないかもしれないが、努力する才能が私にはあった」という言葉に胸を熱くした。子どもたちの感想にも、「夢や目標を持ち、やればできるのですね」という感想が多々あった。



11月に江戸時代から続く、和ろうそく老舗小大黒屋7代目の大津竜一郎氏の講演会を開催した。200年余り続く老舗の苦労や工夫、伝統文化を伝えることの大切さや大変さ等を聞いた。

①文化を守り育てる。②安心安全な製品を作る。③正しい使い方伝える。④原料を確保するの4点を中心に、文化・技術の伝承に力を注いでいることに、子どもたちもその苦労が理解できた。

成果と課題

昨年度は寿し職人の田畑健太郎氏、シンガーソングライターあべさとえ氏、ネパールに学校を設立したバルア雅子氏の三氏を、今年度は清水智信選手、大津竜一郎氏の二氏の講演会を開催した。

皆さん自分の生き方について熱く語られ、児童は夢や目標を持ち努力することの大切さを直に学んだと感じる。このように家庭・地域との連携を密にすることで、専門性を生かした地域の教育力を生かすことができ、学習活動や内容に広がりや深まりが見られた。ネパールのミトラスクールとは児童たちとの作品交流を継続しており、手紙でも互いの学校の様子を知らせている。

課題としては、人材の発掘が挙げられる。学校としてもいろいろな情報を調べているが限界がある。地域・学校協議会員（本校では白鳥懇話会員）の方々の地域のネットワークにもお願いしている。